

平成 26 年 12 月

W&I 歯学研究会セミナーのお知らせ

歯周治療は、歯科治療の根本をなす重要な治療の一つとして認知されていますが、その進歩はめざましく、常に知識、技術の取得が要求されています。しかし、それらは歯科医師だけが知っていれば良いというものではなく、歯科医師、歯科衛生士の連携が重要であることは言うまでもありません。

今回は、アジスロマイシン(商品名ジスロマック)を使用した抗菌剤による歯周治療に関して、静岡県袋井市でご開業の鈴木龍先生にお話しいただきます。鈴木先生は、診療の傍ら、自院の歯科医師臨床研修施設で若い先生の教育にも熱心に取り組まれており、インプラントの公認インストラクターも勤められております。

ご期待ください。

W&I 歯学研究会
代表 渡辺重視

演題 1. 歯周病とインプラント周囲炎はバイオフィルムとの戦い
2. インプラントの基本知識

講師 鈴木龍 先生(静岡県開業)

対象 歯科医師 歯科衛生士

日程 平成 27 年 1 月 18 日(日曜)
9:30~11:30 第一部
11:30~13:00 懇親会(昼食あり)
13:00~14:30 第二部

会場 いわき産業創造館 IT 研修室
いわき市平字田町 120 番地 LATOV 6階
0246-21-7570
当日は銀座通り入口よりお入りください。

参加費 歯科医師 ¥15,000
歯科衛生士 ¥1,000

歯周病とインプラント周囲炎はバイオフィルムとの戦い

<根本的治癒をあきらめていないか>

歯周病やインプラント周囲炎は根本的な治癒、いわゆる歯周病菌の除菌はできないと私は30年もの間考えてきました。ですからひたすらバイオフィルムを機械的に壊し、撤去してきました。確かにSRPやメンテナンスを中心とした現在の歯周病システムは、良くできているシステムだと思います。しかし免疫の下がった患者さんや、喫煙者には不十分だと感じる歯科医師、歯科衛生士も多いことでしょう。やはり原因治療である歯周病菌の駆除は、歯周病、インプラント周囲炎の最大の治療だと考えています。今回はアジスロマイシンの長期投与を中心にお話させていただき、今までの歯周病治療を今一度見直すきっかけになればと考えています。また歯周病の検査が大きく立ち遅れている現状、歯科衛生士による顕微鏡のメンテナンスの動画なども紹介します。歯周病にはマンパワー、歯科衛生士のパワーが欠かせません。含嗽剤についても、リステリンとナノバブルを中心として解説します。

インプラントの基本知識

<歯科材料学は面白い>

インプラントの材料であるチタン、骨の無機質成分HAなどの物理特性はあまり理解されていないと感じています。インプラントに関わる材料特性を分かりやすく理解することは、歯科医師だけでなく歯科衛生士にも大切なことです。フッ素によるチタンの腐食やアレルギーなど、患者さんへの説明に必要な事項を特に選んでお話しします。また先生方には絶対に必要なインプラントの基本をいくつかお話しします。

問い合わせ先

W&I 歯学研究会事務局(渡辺歯科医院内) 0246-63-6480